

院長略歴

1990年 大阪大学医学部卒業
 1992年 国立大阪病院
 1997年 大阪大学医学部眼科助手
 1997年 米国Harvard大学留学
 2000年 大阪大学医学部眼科助手復職
 2001年 大阪大学医学博士授与
 2002年 大阪大学医学部眼科学内講師
 2007年 大阪大学医学部眼科講師
 2014年 金沢大学非常勤講師(兼任)
 2015年 いくの眼科院長
 大阪大学招へい教授(兼任)
 金沢大学臨床教授(兼任)

役職

日本近視学会 副理事長
 日本強度近視眼底研究会 代表世話人
 脈絡膜画像診断研究会 代表世話人
 近視緑内障研究会 世話人
 Retina Glaucoma Club 世話人

資格

日本眼科学会専門医／指導医
 眼科PDT研究会認定医
 OSCE頭頸部認定評価者
 淀川キリスト教病院非常勤医(手術担当)

受賞

2004年 ジャムコン賞
 2005年 眼科手術学会最優秀ポスター
 2005年 日本眼科学会学術奨励賞
 2006年 Ophthalmic Surgery Film Award
 2009年 American Academy of Ophthalmology Achievement Award
 2014年 Asia-Pacific Academy of Ophthalmology Achievement Award
 2014年 日本眼科学会評議員会指名講演

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00-12:00	●	●	●	●	●	●	休
14:00-17:30	●	★	休	★	●	休	休

★印・・・手術日 担当医は曜日によって異なります。
 ※初診・予約外の方は、午前・午後とも診療時間の15分前に受付終了です。
 ※予定外の診療により、時間変更になることがあります。

ご予約・お問い合わせ(診療時間内)

06-6309-4930

阪急十三駅東出口すぐ



〒532-0023
 大阪市淀川区十三東2丁目9-10
 十三駅前医療ビル3階 いくの眼科

- バス
 大阪市バス十三駅東口から徒歩3分
- タクシー
 十三駅東口バス停とお伝えください
- 新幹線
 新大阪駅からタクシーで10分
 または、御堂筋線の西中島南方駅で阪急に乗り換え
- 飛行機
 伊丹空港からタクシーで30分
 または、モノレールの蛍池駅で阪急に乗り換え



IKUNO EYE CENTER

眼科一般／白内障／網膜硝子体手術

医療法人 恭青会

いくの眼科

ごあいさつ

これまで20年間、大阪大学医学部附属病院で網膜・近視・白内障手術などの最先端医療に取り組んできました。多くの患者様と喜びを共にし、今では最高の技術を皆様にご提供できるようになったと自負しています。しかし、大学病院は敷居が高いだけでなく、限られた診察時間等の理由で、患者様一人一人と深く向き合うことが難しいと日々痛切に感じていました。

これらを解消し、患者様中心とした医療を目指すために、阪急十三駅前にいくの眼科を開院いたしました。大学病院同等の最新鋭の診断機器と手術設備を備え、網膜や近視などの難しい疾病の診断や治療が可能です。また、白内障手術に関しては、最先端の眼内レンズを導入し患者様の要望に細かに対応することもできるようになりました。また、大阪大学医学部附属病院での非常勤勤務も継続し、大学と連携しながら医療研究を行い、引き続き眼科分野の進歩にも貢献させていただく所存です。

いくの眼科院長
大阪大学医学博士
大阪大学招へい教授
金沢大学臨床准教授
日本眼科学会認定専門医
日本眼科学会認定指導医



生野恭司

外来診療室

対応できる疾患

- 眼瞼・睫毛疾患
 - 角膜疾患・結膜疾患
 - 白内障・緑内障
 - 網膜・近視性疾患
 - 斜視・神経疾患
- ※赤字は特に院長の専門です。



眼底診断機器

高速光干渉断層計(ニデック)のほか、高侵達スエプトソース光干渉断層計(トプコン)、光干渉断層型血流診断装置(RTVue)、蛍光眼底造影装置(トプコン)、眼底撮影カメラ(散瞳(トプコン)と非散瞳(ニデック))、眼底広角撮影装置(OPTOS)、自発蛍光撮影装置(トプコン)、静的量的自動視野計(カールツァイス)、動的量的視野計(タカギセコイー)を設置し、大学病院クラスの眼底専用機器を取り揃えています。

特殊な外来治療

- レーザー治療
- ★網膜／虹彩光凝固術
- ★後発白内障切開術

眼内注射

- ★ルセンチス注射液
- ★アイリーア注射液
- ★ケナコルト注射液



※注射は曜日・時間が決まっています。事前にご相談ください。

日帰り手術

対応可能な手術

- 水晶体再建術(難治例含む)
 - 眼内レンズ縫着術
 - 硝子体切除術
 - 強膜バックリング術
 - 虹彩切除術
 - 緑維柱帯切除・切開術など
- ※その他についても、対応可能な場合がありますので、ご相談ください。



主な手術機器

手術用顕微鏡LUMERA700(カールツァイス)
広角眼底観察装置RESIGHT(カールツァイス)
白内障手術装置CENTURION(アルコン)
硝子体手術装置CONSTELLATION(アルコン)等
最先端の手術機器を取り揃えています。

豊富な経験と実績

院長は20年間、阪大病院の網膜硝子体手術を担当し、網膜だけでも数千例を超える執刀を行いました。症例数だけでなく、高い技術と治療実績から、今でも多くの施設に招聘され、執刀しています。



※入院希望の場合は、入院施設と提携しながら手術を行います。詳しくは、お問い合わせください。また、宿泊希望の方は、近隣ホテルをご紹介します。